



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 トーヨーカネツ株式会社
コード番号 6369 URL <https://www.toyokanetsu.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大和田 能史
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 米原 岳史 TEL 03-5857-3333
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	37,012	11.3	1,073	△6.9	1,523	△4.2	1,693	48.2
2023年3月期第3四半期	33,240	△23.0	1,152	△42.1	1,590	△33.7	1,142	△22.4

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 32百万円 (△98.4%) 2023年3月期第3四半期 2,046百万円 (151.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	216.58	—
2023年3月期第3四半期	141.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	64,963	35,686	54.9	4,626.54
2023年3月期	64,001	38,087	59.5	4,708.95

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 35,680百万円 2023年3月期 38,083百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	147.00	147.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	180.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,400	10.7	2,800	12.1	3,100	7.0	2,800	17.7	358.88

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	8,323,074株	2023年3月期	9,323,074株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	610,848株	2023年3月期	1,235,672株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	7,820,528株	2023年3月期3Q	8,102,574株

（注）期末自己株式数には、「役員向け給付信託口」が保有する当社株式（2024年3月期3Q 59,400株、2023年3月期 59,400株）が含まれております。また、「役員向け給付信託口」が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております（2024年3月期3Q 59,400株、2023年3月期3Q 66,970株）。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は添付資料3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手について）

決算補足説明資料はT D n e t で同日開示しており、また、当社ホームページに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8
3. 補足情報	9
(1) 受注及び受注残高の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（自2023年4月1日至2023年12月31日）の連結売上高は、すべての報告セグメントで増収となったことにより370億12百万円（前年同四半期比11.3%増）となりました。

利益面では、引き続き好調なプラント事業は前年同期比増益となりましたが、DX 関連費用を含む全社費用の増加や、主力の物流ソリューション事業において上期に工程の端境があったことで前年同四半期比では減益となったことなどから、連結営業利益は10億73百万円（同6.9%減）と、全体としても若干の減益となりました。

また特別損益の部においては、主に政策保有株式の売却による投資有価証券売却益が12億10百万円、在外子会社の資産売却等で固定資産売却益が4億40百万円発生しております一方で、2023年6月に被った大雨による浸水被害額5億17百万円を特別損失として計上しております。なお、当該浸水被害については、損害保険金の受け取りによりその大部分が補填され、当連結会計年度内に、相当する特別利益の計上がなされる見通しです。

これらの結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は16億93百万円（同48.2%増）となりました。

セグメントの経営成績は次の通りであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメントの区分を変更しており、前年同四半期との比較分析は、変更後の区分に基づいております。

①物流ソリューション事業

ネット通販、3PL、製造業向けの「マルチチャトル」を組み込んだ庫内自動化設備案件を中心に売上計上されたことによって当事業の売上高は220億50百万円（前年同四半期比13.2%増）、営業利益は13億17百万円（同11.1%減）となりました。

②プラント事業

国内製油所向けメンテナンス案件については、安定的な受注を確保しつつ順調に売上を計上しております。

その結果当事業の売上高は66億84百万円（前年同四半期比10.0%増）、営業利益は5億34百万円（同45.7%増）となりました。

③次世代エネルギー開発事業

カーボンニュートラルの要請に応えるべく次世代エネルギー関連の研究開発に注力しております。次世代エネルギー関連への問い合わせ対応が増加する一方で、既存エネルギーのタンク新設案件についても対応しております。

その結果、当事業の売上高は8億69百万円（前年同四半期比22.4%増）となりました。また営業損益については営業損失4億64百万円（前年同四半期は営業損失5億96百万円）となりました。

④みらい創生事業

産業機械事業において製品価格の改定による効果、建築事業における建築工事件や Gondola 仮設における案件増加、及び環境事業の受注拡大などにより、前期比で増収となりました。一方、利益面では環境事業の強化を狙った積極的な人的投資、及び事業領域の拡大を図った成長投資が増加したなどにより減益となりました。

その結果、当事業の売上高は70億57百万円（前年同四半期比9.2%増）、営業利益は4億33百万円（同12.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は394億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ17億38百万円増加しました。これは主に現金及び預金が43億50百万円、原材料及び貯蔵品が5億26百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が34億90百万円減少したことによるものです。固定資産は254億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億76百万円減少しました。これは主に投資有価証券が10億87百万円減少したことによるものです。

この結果、総資産は649億63百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億61百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は213億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億55百万円増加しました。これは主に、短期借入金が増加したことによるものです。固定負債は78億90百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億93百万円減少しました。これは主に繰延税金負債が7億17百万円減少し

たことによるものです。

この結果、負債合計は292億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ33億62百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は356億86百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億1百万円減少しました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益が16億93百万円増加し、剰余金の配当11億97百万円、その他有価証券評価差額金15億75百万円、自己株式の取得12億36百万円により減少したことによるものです。

この結果、自己資本比率は54.9%（前連結会計年度末は59.5%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年11月29日に公表しました業績予想数値から変更ありません。

なお、業績予想は、現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,989	11,339
受取手形、売掛金及び契約資産	23,649	20,158
リース投資資産	35	3
商品及び製品	19	33
仕掛品	1,117	1,464
原材料及び貯蔵品	4,787	5,313
その他	1,156	1,188
貸倒引当金	△20	△29
流動資産合計	37,734	39,472
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,206	4,662
機械装置及び運搬具(純額)	568	630
工具、器具及び備品(純額)	434	526
土地	10,092	10,092
建設仮勘定	543	626
その他(純額)	58	48
有形固定資産合計	15,903	16,586
無形固定資産		
投資その他の資産	877	621
投資有価証券	8,059	6,971
繰延税金資産	240	195
退職給付に係る資産	514	410
その他	894	923
貸倒引当金	△221	△217
投資その他の資産合計	9,486	8,283
固定資産合計	26,267	25,490
資産合計	64,001	64,963

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,243	1,233
短期借入金	5,357	9,857
1年内返済予定の長期借入金	1,700	1,700
未払費用	4,715	4,914
未払法人税等	908	478
契約負債	2,138	1,895
賞与引当金	423	103
受注損失引当金	45	45
完成工事補償引当金	202	105
その他	696	1,052
流動負債合計	17,430	21,386
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	3,380	3,458
繰延税金負債	1,730	1,012
再評価に係る繰延税金負債	1,095	1,095
退職給付に係る負債	392	418
資産除去債務	800	801
その他	84	103
固定負債合計	8,483	7,890
負債合計	25,914	29,276
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,580	18,580
資本剰余金	1,273	1,273
利益剰余金	18,135	15,862
自己株式	△3,200	△1,666
株主資本合計	34,789	34,049
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,374	1,799
繰延ヘッジ損益	△6	△19
土地再評価差額金	684	684
為替換算調整勘定	△899	△940
退職給付に係る調整累計額	140	108
その他の包括利益累計額合計	3,293	1,631
非支配株主持分	4	5
純資産合計	38,087	35,686
負債純資産合計	64,001	64,963

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	33,240	37,012
売上原価	26,013	29,518
売上総利益	7,226	7,494
販売費及び一般管理費	6,074	6,420
営業利益	1,152	1,073
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	229	202
為替差益	189	161
スクラップ売却益	35	27
その他	70	132
営業外収益合計	529	527
営業外費用		
支払利息	61	59
その他	29	17
営業外費用合計	91	77
経常利益	1,590	1,523
特別利益		
固定資産売却益	11	440
投資有価証券売却益	13	1,210
その他	0	0
特別利益合計	25	1,651
特別損失		
固定資産売却損	19	—
投資有価証券評価損	60	7
減損損失	—	333
災害による損失	—	517
その他	5	5
特別損失合計	85	864
税金等調整前四半期純利益	1,529	2,310
法人税、住民税及び事業税	359	579
法人税等調整額	26	36
法人税等合計	385	615
四半期純利益	1,143	1,694
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,142	1,693
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	1
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	968	△1,575
繰延ヘッジ損益	△9	△13
為替換算調整勘定	△28	△41
退職給付に係る調整額	△26	△32
その他の包括利益合計	902	△1,662
四半期包括利益	2,046	32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,045	31
非支配株主に係る四半期包括利益	1	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 自己株式の取得

2023年5月12日開催の取締役会決議に基づく自己株式の取得等により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が1,236百万円増加しました。

2. 自己株式の消却

2023年11月13日開催の取締役会決議に基づき、2023年11月30日に自己株式の消却を行ったため、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ2,769百万円減少しました。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	合計
	物流ソリューション事業	プラント事業	次世代エネルギー開発事業	みらい創生事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	19,479	6,075	710	6,462	32,727	512	—	33,240
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	10	—	24	34	124	△159	—
計	19,479	6,086	710	6,486	32,762	637	△159	33,240
セグメント利益 又は損失 (△)	1,482	367	△596	492	1,745	140	△734	1,152

(注) 「その他」の区分は、不動産賃貸、リース業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容 (差異調整に関する事項)

利益又は損失	金額 (百万円)
報告セグメント計	1,745
「その他」の区分の利益	140
全社費用 (注)	△725
その他の調整額	△8
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,152

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、総務部門等管理部門に係る費用であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメント毎の売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	調整額	合計
	物流ソリューション 事業	プラント 事業	次世代 エネルギー 開発事業	みらい創生 事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	22,050	6,684	869	7,057	36,662	349	—	37,012
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	16	—	62	78	137	△216	—
計	22,050	6,701	869	7,120	36,741	487	△216	37,012
セグメント利益 又は損失(△)	1,317	534	△464	433	1,821	89	△837	1,073

(注) 「その他」の区分は、不動産賃貸、リース業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

利益又は損失	金額(百万円)
報告セグメント計	1,821
「その他」の区分の利益	89
全社費用(注)	△841
その他の調整額	4
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	1,073

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない、総務部門等管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

当社グループでは、「みらい創生その他事業」として、中心となる環境・産業インフラに関連する事業と当社の不動産賃貸事業等を1つに集約した報告セグメントとしておりましたが、環境・産業インフラ事業と、従来集約していたそれ以外の事業との事業関連性が一層薄くなってきたことから、第1四半期連結会計期間より、「みらい創生その他事業」に集約されていた、環境・産業インフラ事業以外の事業を「その他」とすることといたしました。

これに伴い、「みらい創生その他事業」から「みらい創生事業」へセグメント名称を変更しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項ありません。

3. 補足情報

(1) 受注及び受注残高の状況

(受注の状況)

事業の種類別セグメント	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
物流ソリューション事業	19,968 (24)	78.0 (0.1)	19,309 (20)	68.0 (0.1)	△658 (△4)	△3.3 (△17.1)
プラント事業	5,158 (-)	20.2 (-)	7,581 (-)	26.7 (-)	2,422 (-)	47.0 (-)
次世代エネルギー開発事業	462 (440)	1.8 (1.7)	1,524 (1,488)	5.4 (5.2)	1,062 (1,048)	230.0 (238.0)
合計	25,589 (464)	100.0 (1.8)	28,416 (1,509)	100.0 (5.3)	2,827 (1,044)	11.0 (224.6)

() 内は内数であって、海外受注高を示しております。

(受注残高の状況)

事業の種類別セグメント	前連結会計年度末 (2023年3月31日)		当第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
物流ソリューション事業	35,454 (10)	86.2 (0.0)	32,713 (6)	81.9 (0.0)	△2,740 (△4)	△7.7 (△40.6)
プラント事業	5,291 (-)	12.9 (-)	6,188 (-)	15.5 (-)	897 (-)	17.0 (-)
次世代エネルギー開発事業	379 (317)	0.9 (0.8)	1,035 (1,010)	2.6 (2.5)	655 (692)	172.6 (217.9)
合計	41,125 (328)	100.0 (0.8)	39,937 (1,017)	100.0 (2.5)	△1,188 (688)	△2.9 (209.3)

() 内は内数であって、海外受注残高を示しております。